

幅広い競技に対応

常願寺スポーツパーク

クラブハウス来年3月完成



グラウンド近くに整備されるクラブハウスの完成予想図

舟橋

高平メモリアル常願寺スポーツパーク（舟橋村東菅原）のクラブハウスの地鎮祭が25日、建設地の人工芝グラウンド横で開かれた。運営する常願寺川公園スポーツクラブ（SC、平木柳太郎会長）の関係者ら約30人が工事の安全を祈り、利便性を高める施設に期待を寄せた。来年3月に完成予定。

昨年7月にオープンしたグラウンドはサッカーを中心に使われている。着替えや打ち合わせなどのスペース確保に

苦慮しており、クラブハウスを整備することになった。

クラブハウスは県産材を使った木造2階建てで、327平方メートル。1階に更衣室やトイレ、用具庫など、1、2階に多目的スペースを設けて幅広い競技に対応する。総工費は約4千万円。寄付金や県の「木の香るとやまの街づくり事業」の補助などを活用する。地鎮祭には関連業者や村民、住民らが出席。同SCの成田光雄理事長と金森勝雄村長があいさつした。

地域の健康増進に貢献

常願寺川公園スポーツクラブ
舟橋でクラブハウス地鎮祭



クラブハウスの完成イメージ図

常願寺川公園スポーツクラブは25日、舟橋村東菅原の人工芝グラウンド「高平メモリアル 常願寺スポーツパーク」に整備するクラブハウスの地鎮祭を現地で行った。

グラウンドに隣接する駐車場に木造2階建て、延べ床面積327平方メートルの施設を建設する。1階は談話室や更衣室、シャワー室、2階に会議室、約30畳の広さの多目的ホールを備える。県産材を活用する。総工費は約4千万円で、完成は来年3月中旬を予定してい

る。

地鎮祭にはクラブ関係者ら約30人が出席し、成田光雄理事長と金森勝雄村長があいさつした。クラブハウスは運動や健康教室、子育て支援事業など地域の活動にも使われる。